

投資事業評価調書（新規）

部課室名	土木局 道路計画課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路計画課長 井上 俊廣 (高速道路計画係長 田中 剛)	内線	4383 (4380)
------	--------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	道路	事業名	事業区間	総事業費	3,500百万円
		遠阪トンネル有料道路 改築事業	青垣町遠阪～山東町柴 L=4.7km	うち用地 補償費	30百万円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
氷上郡青垣町遠阪～朝来郡山東町柴			H15	H15	H17
事業の目的			事業内容		
<p>北近畿豊岡自動車道は、全国14,000kmの高規格幹線道路網を構成する路線として、但馬・丹波地域と京阪神地域との交流連携機能を強化する等の目的で、国土交通省が春日・和田山間の平成18年供用を目標に整備を進めている。</p> <p>遠阪トンネル有料道路は北近畿豊岡自動車道と一体となって有効活用することが効率的であるが、両者の構造規格が異なるため、遠阪トンネル有料道路の改築事業を施行し、高速走行の安全性及び快適性を確保する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 兵庫県道路公社 ・事業費 約35億円（うち県出資約9億円） ・延長 4.7km（うちトンネル2.6km） ・道路規格 第1種第3級（現第3種第2級） ・設計速度 80km/h（現60km/h） ・車線数 2車線 ・概要 道路規格の変更に伴う構造変更（土工部の拡幅、トンネル照明、出入口改築 など） <p>北近畿豊岡自動車道（関連事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長 約70km（豊岡市～春日町） ・道路規格 第1種第3級 ・設計速度 80km/h ・車線数 4車線（暫定2車線） 		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>北近畿豊岡自動車道の設計速度は80km/hである。一方、遠阪トンネル有料道路は60km/hであり、高速走行の安全性及び連続した高速走行サービスを確保するため、両者の構造規格を合わせる必要がある。</p> <p>兵庫県では平成18年に国体開催を控え、北近畿豊岡自動車道は競技会場へのアクセス路としての活用も期待され、早期整備が求められている。限られた期間に遠阪トンネル有料道路の改築事業を施行するためには有料道路事業の導入が必要である。</p>			
(2)有効性・効率性		<p>遠阪トンネル有料道路を北近畿豊岡自動車道の一部として有効活用することで事業の促進を図ることができる。</p> <p>走行速度が20km/h上がることで、走行時間短縮、走行経費減少など約130億円の便益が得られる。（B/C=2.4）</p> <p>（採算性）</p> <p>国道9号等から北近畿豊岡自動車道に交通が転換し、有料道路事業の採算性は確保できる見込みである。</p> <p>料金徴収期間（現行：H19.5）は延伸するが、料金値下げ（現行：普通車360円）により利用者の負担軽減を図る。</p>			
(3)環境適合性		<p>北近畿豊岡自動車道事業における環境アセスメントでは、環境保全目標を満足する結果となっており、事業実施にあたっては、周辺環境に十分配慮しながら事業を進める。</p>			
(4)優先性		<p>のじぎく兵庫国体に向け、北近畿道と一体となって春日・和田山間を平成18年に供用するため、本事業により早期整備を行う必要がある。</p>			